

I. 教育活動

1. 日本語教育

センターでは、「留学生のための日本語プログラム」と「短期研修留学生のための日本語プログラム」の2つの日本語教育を実施している。

「留学生のための日本語プログラム」は、学部学生及び研究生、特別聴講学生、大学院生向けの日本語授業で、週に10クラス開講している。学部学生に対しては、勉強や生活に支障がないように、来日間もない研究生や特別聴講学生に対しては、日常生活で日本語によるコミュニケーションに支障がないように、日本語学習の機会を提供するものである。

「短期研修留学生のための日本語プログラム」は、日本語の初歩から学び、生活上最低限必要な日本語でコミュニケーションできるようになることを目指すものである。授業期間は10月から12月の10週間で、月曜日から木曜日までの週4回実施している。

以下、2つのプログラムを報告する。

(1) 留学生のための日本語プログラム

【平成21年度前期】

前期の時間割、担当講師、授業内容は以下の通りである。教室はすべて国際理解教育演習室を使用している。

○時間割

曜日/時間	2 (10:30~12:00)	3 (13:00~14:30)	4 (14:40~16:10)
月曜日	上級1A 高橋亜紀子	中級2A 鈴木衣今子	中級1A 鈴木衣今子
火曜日	上級2A 市瀬智紀		
水曜日	上級2B 市瀬智紀		
木曜日		中級3A 内山敦子	中級2B 内山敦子
金曜日	上級1B 高橋亜紀子	中級3B 山口弘美	中級1B 山口弘美

時間割の「上級1 A」、「上級1 B」、「上級2 A」、「上級2 B」は、学部生向けに出講している「日本語A」「日本語B」「日本語コミュニケーションA」「日本語コミュニケーションB」を前期・後期に分けて実施している科目である。

○授業内容

クラス名	担当講師	学習内容
中級日本語1 A	鈴木 衣今子	初級で学習した文型を整理します。また、日常生活でも使えるように練習します。
中級日本語1 B	山口 弘美	初級で学習した文型を整理します。また、日常生活でも使えるように練習します。
中級日本語2 B	内山 敦子	初級で学習した文型を整理します。また、日常生活でも使えるように練習します。
中級日本語2 A	鈴木 衣今子	まとまった文章を書く練習をします。また、新しい言葉や表現も学びます。
中級日本語3 A	内山 敦子	日本語の文型を中心に学びます。
中級日本語3 B	山口 弘美	これまでに学習した文型を整理します。また、日常生活でも使えるように練習します。
上級日本語1 A	高橋 亜紀子	講義を受けるのに必要な日本語を学びます。読むことと書くことを中心に学習します。
上級日本語1 B	高橋 亜紀子	講義を受けるのに必要な日本語を学びます。聞くことと話すことを中心に学習します。
上級日本語2 A	市瀬 智紀	漢字を中心に学びます。
上級日本語2 B	市瀬 智紀	文法を中心に学びます。

【平成 21 年度後期】

後期の時間割、担当講師、授業内容は以下の通りである。教室はすべて国際理解教育演習室である。

○時間割

曜日/時間	2 (10:30~12:00)	3 (13:00~14:30)	4 (14:40~16:10)
月曜日	上級 1 A 高橋亜紀子	初級 鈴木衣今子	中級作文発表 鈴木衣今子
火曜日	上級 2 A 市瀬智紀		
水曜日	上級 2 B 市瀬智紀		
木曜日		初級 内山敦子	中上級読解 内山敦子
金曜日	上級 1 B 高橋亜紀子	中級文法 山口弘美	中級読解 山口弘美

* 「上級 1 A」、「上級 1 B」、「上級 2 A」、「上級 2 B」は、学部生向けに出講している「日本語 A」「日本語 B」「日本語コミュニケーション A」「日本語コミュニケーション B」を前期・後期に分けて実施している科目である。

○授業内容

クラス名	担当講師	学習内容
初級	鈴木 衣今子	日本での生活ができるように、日本語の基礎を学びます。
初級	内山 敦子	日本での生活ができるように、日本語の基礎を学びます。
中級作文発表	鈴木 衣今子	あるテーマについて話したり、書いたり、書いたものを発表する練習をします。
中級文法	山口 弘美	中級の文法を整理しながら学びます。
中級読解	山口 弘美	読む練習をします。漢字があまり読めない人のためのクラスです。
中上級読解	内山 敦子	読む練習をします。漢字が読める人のためのクラスです。
上級日本語 1 A	高橋 亜紀子	講義を受けるのに必要な日本語を学びます。 読むことと書くことを中心に学習します。 文章のルールを学び、日本語らしい表現を学びます。
上級日本語 1 B	高橋 亜紀子	講義を受けるのに必要な日本語を学びます。 聞くことと話すことを中心に学習します。 日本文化に関することについて調べて発表します。
上級日本語 2 A	市瀬 智紀	上級日本語 1 A の授業から更に進んで、論文や卒論を作成するのに必要な日本語を学びます。 漢字の学習を中心に行います。
上級日本語 2 B	市瀬 智紀	上級日本語 1 B の授業から更に進んで、研究発表をするのに必要な日本語を学びます。 文法の学習を中心に行います。

(2) 短期研修留学生のための日本語プログラム

授業の時間割と担当講師は以下の通りである。

短期研修留学生は、月曜日から木曜日までの週4回、午前中に「日本語」の授業を受ける。午後には、「日本の文化」や「日本の音楽」などの授業を選択し、受講することになっている。また、「チュートリアル」として、日本人学生がこのプログラムを受講する留学生の日本語学習や日本での生活をサポートする時間も設けている。そのほかにも、小学校でイタリア文化を紹介し、日本人児童と交流する、日本語スピーチコンテストに出場するなど、日本語の授業以外でも日本語を使う活動を積極的に取り入れている。

曜日/時間 担当講師	9:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50
月曜日 (呉正培)	日本語		日本の文化 (3回)	日本のデザイン (3回)
火曜日 (中村恵)	日本語		日本の音楽 (3回)	
水曜日 (長田佳奈子)	日本語			
木曜日 (山口弘美)	日本語			
金曜日		日本の美術 (3回)	陶芸 (3回)	陶芸 (3回)
*チュートリアル 週1回実施				

2. 学部教育

センターでは、学部教育で開講されている「現代的課題科目群」のうち、「多文化理解」の出講母体として、以下に説明する「ねらい」で、授業科目を出講している。

この科目群のねらいは、「外国にルーツを持つ子どもたちや海外帰国子女などに対する適切な支援ができ、国際理解教育にかかわる総合的な学習や交流行事などを企画・立案できる教員を育てることである。具体的には、教室内の多文化化や外国人児童生徒への日本語教育、外国人児童生徒と日本人児童生徒との交流、地域の国際化、多文化共生などを積極的に進めていくことができる教員の養成」である。

授業科目は以下の通りである。担当講師として、センター教員のほか、JICA・仙台市国際交流協会の職員や小学校教諭などにも協力を依頼し、学生に現場の声が伝わるように配慮している。

授業科目名	講義・演習	単位数	対象年次	備考
多文化理解入門	講義	2	1	必修
日本語教育概論	講義	2	1～3	必修
多言語社会論	講義	2	2	
欧米の言語と文化A・B・C（英・独・仏語）	演習	1	1～4	
アジアの言語と文化A・B（中国・韓国語）	演習	1	1～4	
日本語教育各論	講義	2	2・3	
比較日本文化論	講義	2	2・3	
日本の言語と文化	講義	2	2・3	
国際理解・国際交流論	講義	2	2・3	
海外総合演習	演習	2	2・3	
総合演習	演習	2	3	